

科目名	解剖生理学 I		対象学生・時期	1年生・前期	
			講義時間（単位）	30時間（1）	
講師名	非常勤講師				
科目目標	1. 身体の構造と機能を細胞レベルで学び、身体の支持と運動及び発生と老化を理解できる。				
使用テキスト	系統看護学講座 解剖生理学 人体の構造と機能 医学書院				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1	1. 解剖生理学を学ぶための基礎知識	1) 解剖における人体の概念 2) 解剖生理学を学ぶための化学の基礎知識		講義	
2	2. 人体の素材としての細胞・組織	1) 細胞の構造 2) 細胞を構成する物質とエネルギーの生成 3) 細胞の増殖と染色体 4) 分化した細胞がつくる組織 5) 細胞内情報伝達		講義	
3	3. 構造と機能からみた人体	1) 構造からみた人体 2) 機能からみた人体 3) 体液とホメオスタシス		講義	
4	4. 皮膚の構造と機能	1) 皮膚の組織構造 2) 皮膚の付属器 3) 皮膚の血管と神経 4) 皮膚の機能		講義	
5	5. 生体の防御機構	1) 非特異的防御機構 2) 特異的防御機構（免疫） 3) 生体防御の関連知識		講義	
6	6. 体温とその調節	1) 熱の出納 2) 体温の分布と測定 3) 体温調節 4) 発熱 5) 高体温と低体温		講義	
7	7. 骨格について	1) 人体の骨格 2) 骨の形態と構造 3) 骨の組織と組成 4) 骨の発生と成長 5) 骨の生理的な機能		講義	
8	8. 骨の連結	1) 関節 2) 不動性の連結		講義	
9	9. 骨格筋	1) 骨格筋の構造 2) 骨格筋の作用 3) 骨格筋の神経支配		講義	
10	10. 体幹の骨格と筋	1) 脊柱 2) 胸郭 3) 背部の筋 4) 胸部の筋 5) 腹部の筋		講義	

11	11. 上肢の骨格と筋	<ul style="list-style-type: none"> 1) 上肢帯 2) 自由上肢の骨格 3) 上肢帯の筋群 4) 上腕の筋群 5) 前腕の筋群 6) 前腕の筋群 7) 手の筋群 8) 上肢の運動 	講義	
12	12. 頭頸部の骨格と筋	<ul style="list-style-type: none"> 1) 神経頭蓋 2) 内臓頭蓋 3) 頭部の筋 4) 頸部の筋 	講義	
13	13. 筋の収縮	<ul style="list-style-type: none"> 1) 骨格筋の収縮機構 2) 骨格筋収縮の種類と特性 3) 不随意筋の収縮の特徴 	講義	
14	14. 生殖・発生	<ul style="list-style-type: none"> 1) 男性生殖器 2) 女性生殖器 	講義	
	15. 老化のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 3) 受精と胎児の発生 4) 成長と老化 		
15	単位認定試験・まとめ			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	解剖生理学Ⅱ		対象学生・時期	1年生・前期	
			講義時間（単位）	30時間（1）	
講師名	非常勤講師				
科目目標	1. 呼吸と血液の働き、血液の循環とその調節を理解できる。				
使用テキスト	系統看護学講座 解剖生理学 人体の構造と機能 医学書院				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1～2	1. 呼吸器の構造	1) 呼吸器の構成 2) 上気道 3) 下気道と肺 4) 胸膜・縦隔		講義	
3～5	2. 呼吸	1) 内呼吸と外呼吸 2) 呼吸器と呼吸運動 3) 呼吸気量 4) ガス交換とガスの運搬 5) 肺の循環と血流 6) 呼吸運動の調節 7) 呼吸器系の病態生理		講義	
6～7	3. 血液	1) 血液の組成と機能 2) 赤血球 3) 白血球 4) 血小板 5) 血漿タンパク質と赤血球沈降速度 6) 血液の凝固と繊維素溶解 7) 血液型		講義	
8	4. 循環器系の構成	1) 体循環と肺循環 2) 門脈系 3) リンパ系		講義	
9～10	5. 心臓の構造	1) 心臓の位置と外形 2) 心臓の4つの部屋と4つの弁 3) 心臓壁 4) 心臓の血管と神経		講義	
11～12	6. 心臓の拍出機能	1) 心臓の興奮とその伝播 2) 心電図 3) 心臓の収縮		講義	
13	7. 末梢循環系の構造	1) 血管の構造 2) 肺循環の血管 3) 体循環の動脈 4) 体循環の静脈		講義	
14	8. 血液の循環の調節	1) 血圧 2) 血液の循環 3) 血圧・血流量の調節 4) 微小循環 5) 循環器系の病態生理 6) リンパとリンパ管		講義	
15	単位認定試験・まとめ				
評価方法	筆記試験				
備考					

科目名	解剖生理学Ⅲ	対象学生・時期	1年生・後期	
		講義時間（単位）	30時間（1）	
講師名	非常勤講師			
科目目標	栄養の消化吸収、体液の調節と尿の生成、内蔵機能の調節について理解する。			
使用テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能 解剖生理学 医学書院			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 口・咽頭・食道の構造と機能	1) 口の構造と機能 2) 咽頭と食道の構造と機能 3) 食物の嚥下と咀嚼	講義	
2	2. 腹部消化管の構造と機能	1) 胃の構造 2) 胃の機能 3) 胃の周辺の間膜	講義	
3	3. 小腸の構造と機能	1) 小腸の構造 2) 栄養素の消化と吸収	講義	
4	4. 大腸の構造と機能	1) 大腸の構造 2) 大腸の機能 3) 腹膜と腸間膜	講義	
5	5. 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能	1) 膵臓 2) 肝臓と胆嚢の構造 3) 肝臓の機能	講義	
6	6. 腎臓	1) 腎臓の構造と機能 2) 糸球体の構造と機能	講義	
7		3) 尿細管の構造と機能 4) 傍糸球体装置	講義	
8		5) クリアランスと糸球体濾過量 6) 腎臓から分泌される生理活性物質	講義	
9	7. 体液の調節	1) 水の出納 2) 脱水 3) 電解質バランス 4) 酸塩基平衡 8) 体液の調節	講義	
10	8. 自律神経による調節	1) 自律神経の機能 2) 自律神経の構造 3) 自律神経の神経伝達物質と受容体	講義	
11	9. 内分泌系による調節	1) 内分泌とホルモン 2) ホルモンの化学構造と作用機序	講義	

12	10. 全身の内分泌腺と内分泌細胞	<ul style="list-style-type: none"> 1) 視床下部一下垂体系 2) 甲状腺と副甲状腺 3) 膵臓 4) 副腎 5) 性腺 6) その他の内分泌腺 	講義	
13	11. ホルモン分泌の調節	<ul style="list-style-type: none"> 1) 神経性調節 2) 物質の血中濃度による自己調節 3) 促進・抑制ホルモンによる調節 4) 負のフィードバック 5) 正のフィードバック 	講義	
14	12. ホルモンによる調節の実際	<ul style="list-style-type: none"> 1) ホルモンによる糖代謝の調節 2) ホルモンによるカルシウム代謝の調節 3) ストレスとホルモン 4) 乳房の発達と乳汁分泌 5) 高血圧をきたすホルモン 	講義	
15	単位認定試験・まとめ			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	解剖生理学Ⅳ	対象学生・時期	1年生・後期	
		講義時間（単位）	30時間（1）	
講師名	非常勤講師			
科目目標	1. 情報の受容と処理について理解する。			
使用テキスト	系統看護学講座 人体の構造と機能 解剖生理学 医学書院			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 脳・神経系の基礎	1. 神経細胞の構造 2. イオンチャンネル 3. 静止電位	講義	
2	2. 活動電位・興奮の伝導 シナプス伝達	1. 興奮性シナプスと抑制性シナプス	講義	
3	3. 神経系の構造 4. 脳の構造と機能	1. 中枢神経系と末梢神経系 2. 大脳半球 3. 機能局在 4. 大脳の機能と構造	講義	
4	4. 脳の構造と機能	1. 大脳基底核の機能と構造 2. 間脳の機能 3. 脳幹の機能と構造	講義	
5	4. 脳の構造と機能	1. 小脳の機能と構造 2. 脊髄の機能と構造 3. 伸張反射	講義	
6	5. 末梢神経系	1. 脳神経と名称と働き 2. 脊髄神経	講義	
7	6. 自律神経系	1. 交感神経 2. 副交感神経	講義	
8	7. 感覚	1. 感覚の種類 2. 体性感覚 3. 触圧覚 4. 痛覚	講義	
9	8. 神経伝達	1. 上行路 2. 下行路	講義	
10	9. 感覚器	1. 眼の構造と機能 2. 視覚 3. 杆体と錐体 4. 遠近調節 5. 視覚の経路	講義	
11	9. 感覚器	1. 耳の構造 2. 聴覚と平衡覚・色覚	講義	
12	9. 感覚器	1. 化学的感覚 1)嗅覚 2)味覚 2. 運動調節 3. 骨髄反射	講義	
13	10. 大脳の働き	1. 脳幹の働き 2. 高次機能 3. 大脳半球の左右差	講義	
14	10. 大脳の働き	1. 脳波 2. 睡眠	講義	
15	まとめ・単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	疾病と治療（総論）	対象学生・時期	1年生・前期	
		講義時間（単位）	30時間（1）	
講師名	①医師A ②医師B ③医師C ④医師D ⑤医師E			
科目目標	1. 健康から疾病に至る過程を日常生活との関連で理解できる 2. さまざまな疾病がもたらす身体内部の変化を理解できる 3. 治療として共通する放射線療法・外科的療法・内科的療法を理解できる 4. 様々な機能障害を治療するときに共通する外科的療法と麻酔療法について理解できる			
使用テキスト	・カラーで学べる病理学第4版 ノーベルヒロカワ ・新体系看護学全書 別巻3 放射線診療と看護 メジカルフレンド社 ・系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 疾病の成り立ち	1. 生体の反応と疾病の機序 2. 生体の回復力 3. 個体差と個人の反応 4. 細胞の障害	講義	医師A
2	2. 代謝障害	1. 脂質代謝異常 2. 糖質代謝異常 3. タンパク質代謝異常 4. 核酸代謝異常	講義	医師A
3	3. 循環障害	1. 充血 2. 出血 3. 血液凝固 4. 血栓	講義	医師A
4	4. 炎症	1. 炎症とは 2. 急性炎症 3. 慢性炎症	講義	医師A
5	5. 腫瘍	1. 腫瘍の形態と分類 2. 腫瘍原因と発生のメカニズム	講義	医師A
6	6. 先天異常	1. 先天性異常	講義	医師A
7	7. 老と死	1. 加齢と疾患	講義	医師A
8	8. 放射線概論と診断	1. 放射線の種類と性質 2. 放射線障害と防御 放射線診断と看護 ①X線診断と看護 ②血管撮影・IVRと看護 ③MRI検査④超音波検査と看護	講義	医師B

9	9. 放射線治療	3. 放射線治療と看護 ①脳腫瘍 ②眼科的領域 ③頭頸部癌 ④食道癌 ⑤肺癌 ⑥乳癌 ⑦膀胱癌 ⑧直腸癌 ⑨子宮頸癌	講義	医師C
10	10. 手術療法	1. 手術療法の目的と意義 2. 外科手術手技・処置の基本	講義	医師D
11		3. 外科的侵襲と生体反応	講義	医師D
12		4. 手術前・中・後の管理	講義	医師D
13	11. 麻酔の知識	1. 麻酔の歴史 2. 麻酔の役割 3. 輸血療法	講義	医師E
14	12. 麻酔の種類	1. 全身麻酔と局所麻酔	講義	医師E
15	13. 麻酔と管理	1. 麻酔の合併症 2. モニターの種類と原理・効果	講義	医師E
	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	疾病と治療 I (中枢神経障害・感覚器機能障害と治療)		対象学生・時期	1年生・後期
			講義時間(単位)	30時間(1)
講師名	①医師A ②医師B ③医師C ④医師D ⑤医師E			
科目目標	1. 中枢神経機能の障害とその治療について理解できる。 2. 感覚機能の障害とその治療について理解できる。			
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 成人看護学 7 脳・神経 医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学 13 眼 医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学 14 耳鼻咽喉 医学書院 			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 脳・神経系の構造と機能	1. 神経系の分類と機能 2. 中枢神経系 3. 末梢神経系 4. 運動機能と感覚機能	講義	医師A
2	2. 症状と主な病態	1. 運動機能障害 2. 感覚機能障害 3. 自律性のある機能の障害	講義	医師A
3	3. 主な疾患と内科的治療	1. 脳疾患 ①脳梗塞	講義	医師A
4		2. 末梢神経障害 ①多発性ニューロパチー ②糖尿病性ニューロパチー ③ギランバレー症候群 ④圧迫性神経障害 ⑤顔面神経麻痺	講義	医師A
5		3. 筋疾患・神経筋接合部疾患 ①筋ジストロフィー ②多発性筋炎 ③重症筋無力症	講義	医師A
6		4. 脱髄・変性疾患 ①多発性硬化症 ②パーキンソン病 ③筋萎縮性側索硬化症 ④脊髄小脳変性症 5. 中枢神経系疾患 ①脊髄損傷 ②機能性疾患 6. 認知症 7. 内科疾患に伴う神経疾患 ①神経ベーチェット病 ②甲状腺機能低下症	講義	医師A
7	4. 脳・神経系の構造と機能	1. 脳・脊髄の保護構造と循環系 ①髄膜・頭蓋骨などの外部構造 ②管系	講義	医師B C

8	5. 症状と主な病態	1. 意識障害 2. 頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア 3. 髄膜刺激症状	講義	医師B C
9	6. 主な疾患と治療	1. 脳疾患 ①脳血管疾患障害（脳梗塞除く） ②脳腫瘍 ③頭部外傷 ④脳炎・髄膜炎 2. 外科的治療	講義	医師B C
10	1. 眼の構造と機能と主な検査	1. 構造と機能 ①眼球 ②視神経・視路 ③眼球付属器・眼筋 ④眼窩 2. 主な検査 ①視力検査 ②眼底検査 ③眼圧検査	講義	医師D
11	2. 主な疾患と治療	1. 主な疾患 ①屈折の異常：近視・遠視・乱視 ②調節の異常：老眼 ③眼位・眼球運動の異常：斜視 ④部位別疾患：麦粒腫、細菌性結膜炎、流行性角結膜炎、アレルギー性結膜炎、単純ヘルペス性角膜炎、糖尿病性網膜症、白内障、緑内障、うっ血乳頭 2. 主な治療 ①点眼法 ②洗顔法 ③光凝固 ④屈折矯正 ⑤手術	講義	医師D
12	1. 耳鼻咽喉・頸部の構造と機能と検査 2. 主な症状と病態	1. 耳の構造 2. 鼻の構造 3. 咽頭・喉頭の構造 4. 主な検査：聴力検査、副鼻腔検査 1. 耳に現れる症状と病態 難聴、耳鳴、めまい、耳漏、鼻閉、くしゃみ、鼻出血、嗅覚障害	講義	医師E
13	3. 主な疾患と治療	1. 外耳疾患：①外耳炎 ②外耳異物 2. 中耳疾患：①鼓膜損傷 ②耳管狭窄症 ③滲出性中耳炎 ④急性中耳炎、 3. 内耳・後迷路性疾患：①メニエール病 ②音響障害 ③老人性難聴 ④突発性難聴 4. 外鼻疾患：①外傷 5. 鼻腔疾患：①鼻出血 ②急性鼻炎 ③鼻アレルギー	講義	医師E

14		6. 副鼻腔疾患：①急性副鼻腔炎 ②慢性副鼻腔炎、 7. 口腔・咽頭疾患：①口唇ヘルペス ②ペーチェット病 ③アフタ性口内炎 ④味覚障害 8. 咽頭疾患：①咽頭炎 ②急性扁桃炎 ③扁桃周囲炎④扁桃周囲膿瘍 ⑤がん 9. 唾液腺疾患：①シェーグレン症候群 10. 咽頭疾患：①急性咽頭炎 ②仮性ク ループ ③喉頭ポリープ ④がん 11. 主な治療：①点鼻・点耳 ②鼓膜切開 ③手術	講義	医師E
15	まとめ・単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	疾病と治療Ⅱ (呼吸・循環・造血機能障害と治療)		対象学生・時期	1年生・後期	
			講義時間(単位)	30時間(1)	
講師名	①医師A ②医師B ③医師C ④医師D				
科目目標	1. 生命の危機状態とその対処方法について理解できる 2. 呼吸機能の障害とその治療について理解できる 3. 循環機能の障害とその治療について理解できる 4. 造血機能の障害とその治療について理解できる				
使用テキスト	系統看護学講座 成人看護学2 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学3 循環器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学4 血液・造血器 医学書院				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1	1. 呼吸器の構造と機能	1. 呼吸器の構造 2. 呼吸の生理		講義	医師A
	2. 症状とその病態	1. 自覚症状 喀痰、血痰・咯血、咳嗽、胸痛、呼吸困難、チアノーゼ、発熱、ばち指			
2	3. 検査と処置	1. 検査 ①血液検査 ②喀痰検査 ③内視鏡検査 ④呼吸機能検査 2. 処置 ①吸入療法 ②酸素療法 ③人工呼吸療法		講義	医師A
3	4. 疾患の理解	1. 感染症 ①かぜと急性気管支炎 ②インフルエンザ ③肺炎 ④結核 ⑤非結核性抗酸菌症 2. 間質性肺炎 ①原因不明の間質性肺炎 ②サルコイドーシス ③じん肺		講義	医師A
4		3. 気道疾患 ①気管支喘息 ②気管支拡張症 ③慢性閉塞性肺疾患 4. 肺血栓塞栓症		講義	医師A
5		5. 呼吸不全 6. 呼吸調節に関する疾患 ①過換気症候群 ②睡眠時無呼吸症候群 7. 肺腫瘍 8. 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患 ①胸膜炎 ②自然気胸 ③縦隔腫瘍		講義	医師A

6	1. 循環器の構造と機能	1. 心臓の構造と機能 2. 血管の構造と機能 3. 循環の調節	講義	医師B
7	2. 症状とその病態 3. 検査と治療	1. 胸痛 2. 動悸 3. 浮腫 4. めまい・失神 5. ショック 1. 検査 ①心電図 ②心臓カテーテル検査 2. 内科的治療 薬物療法 経皮的冠状動脈インターベンション ペースメーカー	講義	医師B
8	4. 疾患の理解	1. 虚血性心疾患 ①労作性狭心症 ②冠れん縮性狭心症 ③不安定狭心症 ④急性心筋梗塞	講義	医師B
9		2. 心不全 3. 高血圧	講義	医師B
10		4. 不整脈 5. 弁膜症 6. 心筋症 7. 炎症性疾患 8. 大動脈解離 9. 深部静脈血栓症 10. 閉塞性動脈硬化症	講義	医師B
11	5. 循環器の外科的治療	1. 外科的治療 心臓手術の周手術期管理 冠状動脈バイパス術	講義	医師C
12		弁膜症に対する手術、大血管再建術 血栓除去術、補助循環装置	講義	医師C
13	1. 血液の生理と造血のしくみ 2. 病態生理	1. 血液の成分と機能 2. 造血のしくみ 1. 症候と病態生理	講義	医師D
14	3. 疾患の理解と治療	1. 赤血球の異常 ①鉄欠乏性貧血 ②再生不良性貧血 2. 造血器腫瘍 ①急性白血病 ②慢性骨髄性白血病 ③悪性リンパ腫 ④白血球減少症 3. 出血性疾患 ①血小板異常による出血性疾患 ②播種性血管内凝固症候群 4. 輸血療法	講義	医師D
15	まとめ 単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	疾病と治療Ⅲ (吸収、代謝、排泄機能障害と治療)		対象学生・時期	1年生・後期
			講義時間(単位)	30時間(1)
講師名	①医師A ②医師B ③医師C ④医師D			
科目目標	1. 栄養摂取(食)の障害と治療について理解できる 2. 肝機能・糖代謝・脂質・尿酸代謝の障害と治療について理解できる 3. 排泄機能の障害と治療について理解できる 4. 体液調節機能の障害と治療について理解できる			
使用テキスト	系統看護学講座 成人看護学5 消化器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学15 歯・口腔 医学書院			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1.消化器の構造と機能	1. 食道の構造と機能 2. 胃・十二指腸の構造と機能 3. 小腸・大腸の構造と機能 4. 直腸・肛門の構造と機能 5. 肝臓の構造と機能 6. 胆道系の構造と機能 7. 膵臓の構造	講義	医師A
2	2.症状とその病態生理	1. 嚥下困難 2. おくび、胸やけ 3. 吐き気・おう吐 4. 腹痛 5. 吐血・下血 6. 下痢・便秘 7. 腹部膨満 8. 食欲不振 と体重減少 9. 腹水 10. 黄疸 11. 肝性脳症	講義	医師A
3	3. 検査と治療	1. 検査:①肝機能検査 ②内視鏡検査 ③肝生検 ④内視鏡的逆行性胆管膵管造影 2. 治療:①薬物療法 ②栄養療法・食事療法 ③手術療法	講義	医師A
4	4. 疾患の理解	1. 食道の疾患:①食道がん②食道アカラシア	講義	医師A
5		2. 胃・十二指腸:①機能性胃腸炎 ②胃炎 ③胃・十二指腸潰瘍 ④胃癌	講義	医師A
6		3. 腸および腹膜の疾患:①過敏性腸症候群 ②腸炎 ③腹膜炎 ④虫垂炎 ⑤ヘルニア ⑥イレウス ⑦消化管憩室 ⑧腸管ポリープ ⑨結腸癌・直腸癌 ⑩肛門疾患	講義	医師A
7		4. 肝臓・胆嚢の疾患:①肝炎 ②肝硬変 ③門脈圧亢進症 ④肝不全 ⑤肝臓癌 ⑥肝外傷 ⑦急性胆嚢炎および胆管炎 ⑧胆管癌 ⑨胆嚢癌 ⑩胆嚢ポリープ	講義	医師A
8		5. 膵臓の疾患:①膵炎 ②膵臓がん 6. 急性腹症 7. 腹部外傷	講義	医師A

9	<p>1. 歯・口腔の構造と機能</p> <p>2. 症状とその病態</p> <p>3. 検査と治療</p>	<p>1. 歯と歯周組織 2. 口唇および頬部</p> <p>3. 口蓋 4. 舌 5. 口底・顎下部</p> <p>6. 顎および顎関節 7. 口腔顎顔面の筋</p> <p>8. 唾液腺</p> <p>1. 口腔症状：①疼痛 ②腫脹 ③口腔出血 ④歯の欠損 ⑤味覚障害 ⑥口臭</p> <p>2. 顎口腔機能障害：①開口障害</p> <p>1. 齲歯の治療 2. 歯周疾患の治療</p> <p>3. 口腔外科治療 4. 悪性腫瘍</p> <p>5. 補綴治療 6. 矯正歯科治療</p>	講義	医師 D
10	4. 疾患の理解	<p>1. 歯の異常と疾患</p> <p>2. 歯周組織の疾患</p> <p>3. 齲歯に続発する疾患</p> <p>4. 口腔粘膜の疾患</p> <p>5. 口腔領域の嚢胞</p> <p>6. 口腔領域の悪性腫瘍</p>	講義	医師 D
11	<p>1. 腎の構造と機能</p> <p>2. 症状とその病態</p>	<p>1. 腎臓の構造と機能</p> <p>2. 尿管の構造と機能</p> <p>3. 排尿に関連した症状：①頻尿 ②過活動性膀胱 ③尿失禁 ④排尿症状 ⑤水と電解質の異常 ⑥尿毒症</p>	講義	医師 B
12	3. 検査と治療	<p>1. 尿の検査内容 2. 腎機能検査</p> <p>3. 透析療法</p>	講義	医師 B
13	4. 疾患の理解	<p>1. 腎不全と慢性腎臓病</p> <p>2. 原発性糸球体腎炎、ネフローゼ</p>	講義	医師 C
14		<p>3. 尿細管機能異常：①腎性尿崩症</p> <p>4. 尿路感染症：①腎盂腎炎</p> <p>5. 尿路の通過障害と機能障害：①水腎症と水尿管症 ②膀胱尿管逆流</p>	講義	医師 C
15		<p>6. 全身疾患による腎障害：①糖尿病性腎症</p> <p>7. 水、電解質の異常 ①脱水 ②浮腫 ③低ナトリウム血症 ④高カリウム血症</p>	講義	医師 B
評価方法	単位認定試験			
備考				

科目名	疾病と治療Ⅳ (内部環境・生体防御機能障害と治療)		対象学生・時期	1年生・後期
			講義時間(単位)	30時間(1)
講師名	①医師A 他 ②医師B ③医師C			
科目目標	1. 内分泌機能の障害と治療について理解できる 2. 自律神経の失調とその治療について理解できる 3. 生体防御機能障害と治療について理解できる			
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 成人看護学6 内分泌・代謝 医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学11 アレルギー 膠原病 感染症 医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学12 皮膚 医学書院 			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 内分泌・代謝器官の構造と機能	1. 内分泌器官の構造と機能 2. 内分泌器官とホルモンの機能 3. 代謝の概要と機能	講義	医師A
2	2. 症状とその病態 (下垂体・副腎疾患)	1. 症状とその病態 ①体重減少・身長異常 ②容貌の変化 ③神経・筋症状 ④循環器症状 ⑤消化器症状 ⑥皮膚の変化 ⑦無月経	講義	医師A
3	3. 検査	1. 内分泌疾患の検査 2. 代謝疾患の検査	講義	医師A
4	4. 疾患の理解	1. 内分泌疾患 ①視床下部・下垂体前葉系疾患： プロラクチノーマ、巨人症、先端巨大症、 クッシング病、下垂体機能低下症、 下垂体腫瘍 ②視床下部・下垂体後葉系疾患：尿崩症、 ADH不適切分泌症候群	講義	医師A
5		③甲状腺疾患：橋本病、バセドウ病、 甲状腺機能低下症、亜急性甲状腺炎、 甲状腺腫瘍 ④副甲状腺疾患：副甲状腺機能低下症 原発性副甲状腺機能亢進症、 続発性甲状腺機能亢進症、	講義	医師A
6		⑤副腎疾患：原発性アルドステロン症 クッシング症候群、褐色細胞腫 原発性副腎皮質機能低下症 ⑥性腺疾患 ⑦内分泌疾患の救急治療：副腎クリーゼ 甲状腺クリーゼ、高カルシウム血症クリーゼ	講義	医師A

7		2. 代謝疾患 ①糖尿病 ②脂質異常 ③尿酸代謝異常 ④肥満症とメタボリック クシンドローム ⑤ビタミン欠乏症	講義	医師A
8	1. 皮膚の構造と機能 2. 症状とその病態生理	1. 皮膚の構造 2. 皮膚の機能 1. 発疹 2. 掻痒 3. 皮膚の老化	講義	医師B
9	3. 検査と治療	1. 検査：①免疫・アレルギー検査 ②光線過敏性検査 2. 治療・処置：①全身療法 ②外用薬 ③手術療法 ③光線療法 ④レーザー 療法 ⑤凍結療法 ⑥温熱療法 ⑦ケミカルピーリング	講義	医師B
10	4. 疾患の理解	1. 表在性皮膚疾患：①湿疹・皮膚炎群 ②蕁麻疹群 ③紅斑症 ④薬疹 ⑤水疱症 ⑥膿疱症 ⑦角化症 ⑧炎症性角化症、 2. 真皮・皮下脂肪織および皮膚付属器の 疾患 ①肉芽腫症 ②肝疹 ③多汗症 ④臭汗症 ⑤脱毛症 ⑥多毛症 ⑦爪の疾患 ⑧瘻そう	講義	医師B
11		3. 脈管系：①アレルギー性紫斑病、 ②皮膚アレルギー性血管炎、 4. 血行障害：①皮斑 ②レイノー現象 ③バージャー病 ④閉塞性動脈硬化症、 5. 物理・化学的皮膚障害：①日光皮膚炎 ②光線過敏症 ③熱傷 ④凍傷 ⑤凍 瘡 ⑥放射線皮膚炎 ⑦化学熱傷 6. 腫瘍および色素異常症：①上皮系腫瘍 ②メラノサイト腫瘍 ③イチゴ状血管 腫 ④成人T細胞白血球リンパ腫	講義	医師B
12		7. 色素異常：①色素脱失症 ②色素増加 症 8. 感染症：①一般細菌感染症 ②ハンセ ン病 ③真菌感染症 ④ウイルス性感染症 9. 寄生虫・動物が関与する疾患： ①ツツガムシ病 ②疥癬 ③シラミ症 10. 全身性疾患を伴う皮膚病変： ①膠原病 ②代謝異常症、	講義	医師B

13	1. 免疫機能の機能と障害	1. 自己免疫疾患の病態と治療 1) 自己免疫疾患の機序 2) 症状と病態生理 3) 検査と治療 4) 疾患の理解 ①全身性エリテマトーデス ②関節リウマチ ③シェーグレン症候群	講義	医師C
14		2. アレルギー性疾患の病態と治療 1) アレルギーの仕組み 2) 検査と治療 3) 疾患の理解 ①花粉症 ②食物アレルギー ③アナフィラキシー ④薬物アレルギー 3. 免疫低下に関連する疾患の病態と治療 ①敗血症 ②ヒト免疫不全ウイルス感染症	講義	医師C
15	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	疾病と治療V (運動機能障害と治療)	対象学生・時期	1年生・後期	
		講義時間(単位)	15時間(1)	
講師名	医師			
科目目標	1. 運動機能の障害とその治療について理解できる			
使用テキスト	・系統看護学講座 成人看護学 10 運動器 医学書院			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 運動器の構造と機能	1. 骨 2. 関節 3. 神経と筋肉 4. 腱と靭帯	講義	
2	2. 症状と病態	1. 疼痛 2. 形態の異常 3. 関節運動の異常 4. 神経の障害 5. 異常歩行または跛行 6. 筋肉の障害	講義	
3	3. 診断・検査と治療・ 処置	1. 診断・診察の流れ: ①問診・視診 ②肢位・姿勢 ③計測 ④神経学的検査 ⑤画像検査(x線、MRI、 脊髄造影検査、骨シンチ等) 2. 検査: ①骨密度測定 ②関節鏡 3. 治療・処置: ①保存療法(ギプス)包帯法 ②理学療法と作業療法 ③義肢と装具 ④手術療法	講義	
4	4. 疾患の理解	1. 骨折 ①骨折とは ②各種の骨折 2. 脱臼 ①脱臼とは ②各種の脱臼	講義	
5		3. 捻挫 4. 神経の損傷 5. 筋・腱・靭帯などの損傷	講義	
6		6. 骨・関節の炎症性疾患 7. 骨腫瘍および軟部腫瘍	講義	
7		8. 脊椎の疾患 ①腰部脊柱管狭窄症 ②椎間板ヘルニア ③脊椎分離症 ④骨粗鬆症 ⑤骨端症 9. ロコモティブシンドロームと運動器不安定症	講義	
8	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	疾病と治療Ⅵ (生殖機能障害と治療)		対象学生・時期	2年生・前期
			講義時間(単位)	15時間(1)
講師名	① 医師A ② 医師B ③ 医師C			
科目目標	1. 女性生殖機能の障害と治療について理解できる。 2. 男性生殖機能の障害と治療について理解できる。 3. 泌尿器系の障害と治療について理解できる。			
使用テキスト	・系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器 医学書院 ・系統看護学講座 成人看護学9 女性生殖器 医学書院			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 女性生殖器の構造と機能 2. 女性生殖器の症状と病態障害と治療	1. 外性器、外陰 2. 内性器 3. 女性生殖器の機能 1. ショック 2. 出血 3. 帯下 4. 疼痛 5. 発熱 6. 下腹部膨満・腫瘤感 7. 外陰部搔痒感 8. リンパ浮腫	講義	医師A
2	3. 診察・検査と治療 ・処置 4. 疾患の理解	1. 診察・検査 ①内診②膣鏡診③子宮ゾンデ診 2. 治療・処置 ①膣洗浄 ②診察・治療器具 ③薬物療法(ホルモン療法) ④手術 1. 性分化疾患 2. 臓器別疾患 ①外陰の疾患(ベーチェット病) 3. 膣の疾患 ①膣炎	講義	医師A
3		4. 子宮の疾患 ①発生・発達の異常 ②子宮がん ③子宮の位置異常 ④子宮筋腫 ⑤子宮内膜症 ⑥絨毛性疾患 5. 卵管の疾患 ①炎症 ②腫瘍 6. 卵巣の疾患 ①骨盤内炎症性疾患 7. 機能的疾患 ①月経異常・月経随伴症状 ②更年期障害 ③不妊症 ④感染症	講義	医師A
4	1. 乳房の疾患	1. 乳がん 2. 乳腺良性腫瘍 3. 炎症	講義	医師C

5	<p>1. 男性生殖器・泌尿器の構造と機能</p> <p>2. 主な症状と検査・治療</p>	<p>1. 男性生殖器の構造と機能</p> <p>2. 膀胱の構造と機能</p> <p>3. 尿道の構造と機能</p> <p>1. 症状と病態 陰嚢部の腫瘍、精巣および性機能障害</p> <p>2. 尿の異常</p> <p>3. 排尿に関連した症状：①頻尿 ②過活動性膀胱 ③尿失禁 ④排尿症状</p> <p>4. 経尿道的操作および内視鏡検査</p> <p>5. 手術療法</p> <p>6. 体外衝撃波結石破砕術（ESWL）</p>	講義	医師B
6	<p>3. 男性生殖器系・泌尿器系の疾患とその治療</p>	<p>1. 男性生殖器の疾患 精巣上体炎、精巣炎、淋菌性尿道炎、陰茎折症、精巣腫瘍、陰茎癌、精巣の先天異常、停留精巣、男性の不妊症</p> <p>2. 尿路損傷および異物：①腎損傷 ②尿管損傷 ③膀胱損傷 ④尿道損傷</p> <p>3. 尿路結石症：①腎結石・尿管結石 ②尿道結石</p> <p>4. 尿路・性器の感染症：①腎盂腎炎 ②膀胱炎 ③尿道炎 ④前立腺炎 ⑤精巣炎</p>	講義	医師B
7		<p>5. 尿路・性器の腫瘍：①腎細胞癌 ②膀胱癌 ③前立腺癌</p> <p>6. 尿路の通過障害と機能障害 ①膀胱尿管逆流 ②神経因性膀胱 ③尿失禁</p>	講義	医師B
8	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	疾病と治療Ⅶ	対象学生・時期	2年生・前期	
	小児に特徴的な機能障害と治療	講義時間（単位）	15時間（1）	
講師名	医師			
科目目標	1. 小児看護でよく遭遇する機能障害とその治療について理解する。			
使用テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨床看護各論 配布プリント			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 小児医療と機能障害 特徴的な循環器障害と 治療	1. 小児医療の変遷と現状 2. 乳幼児突然死症候群 3. 発達・発育過程で生じる機能障害 4. 川崎病 5. 循環器疾患 (ファロー4徴候、大血管転位症、 心室中隔欠損症、心不全)	講義	
2	2. 特徴的な感染症と 治療	1. 感染の成り立ち 2. 子どもの免疫の特徴 3. ウィルス感染症 4. 細菌感染症 5. 予防接種 6. 感染対策（院内感染、医療従事者の 健康管理）	講義	
3	3. 特徴的なアレルギー・ 呼吸障害と治療	1. 小児の呼吸器疾患の特徴 2. 先天異常による呼吸器疾患 3. 気管支喘息 4. アレルギーの成り立ち 5. アレルギーの種類（食物アレルギー） 6. アレルギーの検査と治療	講義	
4	4. 新生児の特徴と疾患、 その治療遺伝子・染色体 異常と形態異常と治療	1. 新生児の特徴 2. 新生児死亡率 3. 新生児仮死 4. 新生児一過性多呼吸 5. 胎便吸引症候群 6. 新生児黄疸 7. 乳幼児突然死症候群 8. 口唇・口蓋裂 9. 染色体異常	講義	

5	5. 特徴的な腎・尿路系障害、消化器系障害と治療	<ul style="list-style-type: none"> 1. 代表的な腎・尿路系疾患 (ネフローゼ症候群、尿路感染など) 2. 尿検査と処置 3. 腎・尿路系の先天奇形 4. 夜尿症 5. 代表的な口腔内疾患 (口内炎、地図状舌など) 6. 代表的な消化器疾患 (腸重積、横隔膜ヘルニア、先天性胆道閉鎖症など) 	講義	
6	6. 特徴的な血液、腫瘍、内分泌、代謝疾患と治療	<ul style="list-style-type: none"> 1. 小児の血液疾患・がん (鉄欠乏性貧血、紫斑病、横紋筋肉腫、白血病など) 2. 小児の内分泌・代謝疾患 (バセドウ病、低身長、橋本病など) 3. 糖尿病の検査と治療、家族への説明 	講義	
7	7. 小児の精神・神経疾患・児童虐待	<ul style="list-style-type: none"> 1. てんかん 2. 熱性痙攣 3. 脳性麻痺 4. 水頭症 5. もやもや病 6. 発達障害 7. 児童虐待 	講義	
8	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	疾病と治療Ⅷ (精神障害と治療)	対象学生・時期	2年生・前期	
		講義時間(単位)	15時間(1)	
講師名	医師			
科目目標	1. 精神の障害と治療が理解できる			
使用テキスト	新体系看護学全書 精神看護学2 精神障害をもつ人の看護 メジカルフレンド社			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 精神医療概論 2. 統合失調症	1. 精神症状と状態像 2. 精神障害の原因の分類 3. 心理検査 4. 主な治療法 5. 統合失調症の病型と症状・治療	講義	
2	3. 気分障害	1. うつ病 2. 双極性障害	講義	
3	4. 器質性精神障害	1. 認知症 2. 症状精神病	講義	
4	5. 神経症	1. 恐怖症性不安障害 2. 強迫性障害 3. 重度ストレス反応および適応障害 4. 解離性障害 5. 身体表現性障害	講義	
5	6. 摂食障害・依存症	1. 神経性無食欲症 2. 神経性過食症 3. 精神作用物質使用による精神及び行動の異常 4. 睡眠覚醒障害	講義	
6	7. 児童思春期の精神医学	1. 精神遅滞 2. 自閉症 3. ADHD	講義	
7	8. 自殺予防	1. ストレス 2. ストレス対処方法	講義	
8	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	栄養学		対象学生・時期	1年生・前期	
			講義時間（単位）	30時間（1）	
講師名	非常勤講師A 栄養管理室長B				
科目目標	1. 栄養素の消化・吸収・代謝および生理作用について学び、人間にとっての栄養の意義および健康障害時の食事療法の基本を理解できる。				
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能3 栄養学 医学書院 ・系統看護学講座 別巻 食事療法 医学書院 				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1	1. 人間栄養学	1. 栄養と栄養素 1) 五大栄養素 2) 三大栄養素		講義	A
2	2. 人体を構成する栄養素のはたらき I	1. 炭水化物 2. 脂質		講義	A
3	3. 人体を構成する栄養素のはたらき II	1. タンパク質 2. ビタミン 3. ミネラル		講義	A
4	4. 食物の消化と栄養素の吸収・代謝	1. 栄養素の吸収・代謝 2. 同化異化 3. 血糖の調節 4. 肝臓の働き		講義	A
5	5. エネルギー代謝 6. 食事と食品	1. 三大栄養素のエネルギー 2. エネルギー消費 3. 国民健康栄養調査 4. 日本人の食事摂取基準 5. 食品と栄養素		講義	A
6	7. 栄養状態の評価・判定 8. ライフステージと栄養	1. 栄養アセスメント 2. 栄養状態の評価判定表 3. 乳幼児期から高齢期の栄養		講義	A
7	9. 健康づくりと食生活	1. 生活習慣病の予防 2. 健康日本21 3. 食品表示		講義	A
8	10. 食生活と栄養食事療法	1. 食事療法における看護師の役割 2. 栄養補給方法		講義	B
9	11. ライフステージと栄養 (1)	1. 乳幼児から成人期		講義	B
10	11. ライフステージと栄養 (2)	1. 成人期から高齢期 1) 妊娠糖尿病 2) 摂食嚥下障害		講義	B

11	1 2. 褥瘡・循環器疾患の 食事療法	1. 病院食 2. 高血圧症の食事 3. 動脈硬化症の食事	講義	B
12	1 3. 消化器・循環器疾患の 食事療法	1. 虚血性心疾患の食事 2. 脳血管疾患の食事 3. 胃・腸疾患の食事	講義	B
13	1 4. 消化器・周手術期・ 栄養代謝疾患の栄養食事療法	1. 胆・肝・膵の食事 2. 胃大腸食道術後の食事 3. 糖尿病	講義	B
14	1 5. 栄養代謝疾患・腎臓 疾患の食事療法	1. 脂質異常症 2. 高尿酸血症 3. CKD・糖尿病腎症	講義	B
15	単位認定試験・まとめ			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	微生物学	対象学生・時期	1年生・前期	
		講義時間（単位）	30時間（1）	
講師名	非常勤講師			
科目目標	1. 健康をおびやかす微生物の基礎知識を学ぶ 2. 感染症を起こす病原微生物について理解する 3. 医薬品による健康障害を理解する 4. 感染症とその変貌を理解する			
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 4 微生物学 医学書院			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 微生物の種類と特徴	1. 微生物学の背景 2. 微生物の種類と特徴	講義	
2	2. 細菌の性質	形態・構造・増殖・代謝	講義	
3	3. 感染とその防御	1. 感染の種類と感染経路 2. 細菌の病原因子	講義	
4	4. 感染に対する生体の防御機構 I	1. 自然免疫 2. 免疫関連臓器と細胞	講義	
5	5. 感染に対する生体の防御機構 II	1. 獲得免疫の仕組み 2. 体液性免疫	講義	
6	6. 感染に対する生体の防御機構 III	1. 粘膜免疫 2. ワクチン 3. 細胞性免疫	講義	
7	7. 感染症の検査と診断 8. 滅菌と消毒	1. 感染症の診断法 2. 滅菌と消毒	講義	
8	9. 感染症の治療	1. 化学療法薬 2. 薬剤耐性について	講義	
9	10. おもな病原微生物と感染症 I	ウイルスの特徴・構造・増殖	講義	
10	11. おもな病原微生物と感染症 II	主なウイルスとウイルス感染症	講義	
11	12. おもな病原微生物と感染症 III	1. グラム陽性球菌 2. グラム陰性球菌感染症	講義	
12	13. おもな病原微生物と感染症 IV	1. グラム陰性桿菌 2. グラム陽性桿菌感染症	講義	
13	14. おもな病原微生物と感染症 V	抗酸菌 スピロヘータなどの感染症	講義	
14	15. おもな病原微生物と感染症 VI	病原真菌 原虫感染症	講義	
15	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	薬理学		対象学生・時期	1年生・後期	
			講義時間（単位）	30時間（1）	
講師名	薬剤師A 薬剤師B				
科目目標	1. 薬理学の基礎知識を理解できる。 2. 健康障害に対する薬物療法の作用機序、人体への影響について理解できる。				
使用テキスト	・わかりやすい薬理学 第3版 ノーベルヒロカワ ・今日の治療薬 南江堂				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1	1. 薬理学の概念 2. 薬の吸収・代謝・排泄	1. 薬理学とは 2. 薬物の吸収・代謝・排泄にかかわる臓器・しくみ		講義	A
2	3. 薬効に影響を及ぼす因子 4. 薬の有害作用と副作用 5. 薬物の取り扱いと保管方法	1. 薬効とは 2. 薬の有害作用 3. 薬の副作用 4. 各々の薬物に適した取り扱い 5. 保管方法と保管場所		講義	A
3	6. 主な治療薬の薬理作用	1. 末梢神経系作用薬		講義	B
4		2. 中枢神経系作用薬（1）		講義	B
5		3. 中枢神経系作用薬（2）		講義	B
6		4. 心臓・血管作用薬（1）		講義	B
7		5. 心臓・血管作用薬（2）		講義	B
8		6. 抗炎症薬		講義	A
9		7. 呼吸器系作用薬		講義	A
10		8. 消化器系作用薬		講義	A
11		9. ホルモン系・生殖器系作用薬（1）		講義	B
12		10. ホルモン系・生殖器系作用薬（2）		講義	B
13		11. 抗感染症薬		講義	A
14		12. 抗悪性腫瘍薬		講義	A
15	まとめ・単位認定試験				
評価方法	筆記試験				
備考					

科目名	保健医療論	対象学生・時期	1年生・前期	
		講義時間（単位）	15時間（1）	
講師名	医師			
科目目標	1. 医療の変遷を学び、医の倫理に基づいた医療の役割を理解できる。			
使用テキスト	・学生のための医療概論 医学書院			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 医療とは	1. 臓器移植医療の現状と課題 2. 死の判定と脳死について 3. 再生医療 4. 現代医療が目指す物 5. 医療従事者と生命倫理 6. 患者の権利 7. 個人情報保護	講義	
2	2. 医療システム	1. 医療を支える人々 2. 病院（助産所） 3. 医療の倫理	講義	
3	3. 医療の制度と社会 4. 医療・病気と歴史	1. 保健医療サービスの提供体制 2. 日本の医療制度 3. 医療政策と医療計画 4. 医療と経済 5. 近代医療と発達 6. 人工環境と健康問題	講義	
4	5. 医療のケアを巡って	1. 在宅ケアの推進 2. 高齢者ケアシステム	講義	
5	6. 病院の仕組み	1. 入院・救急・外来・手術・チーム医療 2. 医療サービスと医学診断 3. 医療と診療記録	講義	
6	7. 医療安全と医療サービス	1. 医療安全 2. 医学診断	講義	
7	8. 健康を目指して	1. 寿命 2. 社会環境 3. 相対的貧困 4. 生活習慣 5. 心の病 6. 臨床研究	講義	
8	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	公衆衛生	対象学生・時期	1年生・後期	
		講義時間（単位）	30時間（2）	
講師名	非常勤講師			
科目目標	1. 国民の健康に関する状況と生活環境を学び、人々が健康を享受するために望ましい制度や組織活動を理解するとともに医療専門職の役割を理解できる。			
使用テキスト	・系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度（2）公衆衛生 医学書院 ・国民衛生の動向（2019/2020）			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 健康と公衆衛生	1. 公衆衛生のあゆみ 2. プライマリヘルスケア 3. ヘルスプロモーション 4. ポピュレーションアプローチ	講義	
2	2. 保健統計の考え方	1. 保健統計の基本的な考え方 2. 人口の動向	講義	
3		3. 人口の動向把握と主な指標 4. 有訴者率	講義	
4	3. 疫学	1. 疫学指標 2. 試験デザイン	講義	
5		3. 統計学基礎 4. スクリーニング	講義	
6	4. 環境と健康	1. 地域保健とは 2. 生活環境とその問題	講義	
7	5. 成人保健	1. 成人保健とは 1) 健康日本21 2) メタボリックシンドローム	講義	
8	6. 母子保健	1. 母子保健とは 1) 母子保健の統計 2) 健やか親子21 3) 各法規	講義	
9	7. 高齢者保健	1. 高齢者保健とは 1) 背景 2) 老人福祉法 3) 介護保険制度 4) 高齢者医療確保法 5) 在宅医療	講義	

10	8. 感染症とその予防	1. 感染症とその予防 1) 感染症法 2) 検疫法 3) 予防接種法 4) 感染症の動向 5) 院内感染	講義	
11	9. 障害者福祉 10. 精神保健福祉	1. 機能分類・リハビリテーション 2. バリアフリー・ユニバーサルデザイン 3. 障害者福祉法 1. 精神保健福祉法 2. 地域精神保健福祉活動 3. 発達障害	講義	
12	11. 学校保健 12. 産業保健	1. 学校保健安全法 2. 学校健康診断 1. 労働基準法 2. 労働安全衛生法 3. 産業医	講義	
13	13. 国際保健	4. 健康診断 職業性疾患 5. 事後の管理 1. 国際協力と国際交流 2. WHO 日本のODA 3. 世界の保健課題	講義	
14	14. 食品 15. 栄養	1. 食品衛生法 2. 食品安全基準法 3. 食中毒 1. 食育基本法 2. 食事バランスガイド	講義	
15	まとめ・単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	社会福祉	対象学生・時期	3年生・前後期	
		講義時間(単位)	30時間(2)	
講師名	非常勤講師			
科目目標	1. 社会福祉と医療・社会保障の関連について理解し、対象に必要な社会資源として看護に活用する必要性を理解できる。			
使用テキスト	新体系看護学全書 健康支援と社会福祉制度③ 社会福祉 メジカルフレンド社			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 社会福祉・社会保障の定義と理念	1. 社会福祉の理念 1) 基本的人権の擁護 2) ノーマライゼーション 2. 日本の保健医療福祉活動の基本方向 3. 諸外国における保険医療福祉活動の状況	講義	
2	2. 社会福祉諸法の関連法と施策	1. 社会保険の変遷 1. 医療保険制度 1) 公的医療保険制度 2) 老人医療(後期高齢者医療制度)	講義	
3		1. 介護保険制度 1) 仕組みと法体制 (申請、認定、更新の手続き等)	講義	
4		1. 年金制度 2. その他の社会保険制度	講義	
5	3. 社会福祉行政：福祉六法について	1. 福祉六法とは 2. 児童福祉法 1) 基本的概念 2) 児童福祉法の変遷	講義	
6	4. 障害者福祉法	1. 障害者福祉法 1) 基本的概念 2) 障害者福祉法の変遷 3) 身体障害者とは 4) 知的障害者とは	講義	
7	5. 母子福祉法	1. 母子福祉法 1) 基本的概念 2) 母子福祉法の変遷	講義	
8	6. 地域福祉法	1. 地域福祉法 1) 基本的概念 2) 地域福祉法の変遷	講義	

9	7. 老人福祉法	1. 老人福祉法 1) 基本的概念 2) 老人福祉法の変遷	講義	
10	8. 生活保護制度	1. 生活保護制度 1) 基本的概念 2) 生活保護制度の変遷	講義	
11	9. 社会福祉実践の場	1. 在宅福祉と施設福祉 2. 地域福祉	講義	
12	10. 社会保険および公的給付の沿革と概要	1. 社会保険とは 2. 公的給付とは	講義	
13	11. 社会福祉・社会保険の現状と将来	1. 福祉と看護の関係 2. 地域福祉・公的扶助論	講義	
14	12. 保健福祉医療の連携とマネジメント	1. 保健福祉医療の連携 2. 保健福祉医療のマネジメント	講義	
15	単位認定試験・まとめ			
評価方法	筆記試験			
備考				

科目名	関係法規	対象学生・時期	3年生・前後期	
		講義時間（単位）	15時間（1）	
講師名	医師A 専任教員B 薬剤師C 事務D 事務E 事務F			
科目目標	1. 医療法の概念を理解し、社会生活と法のつながりを理解できる。また、医療に関する法律を学び、看護師に必要な法規を理解できる。			
使用テキスト	・系統看護学講座 専門基礎 健康支援と社会保障制度4 看護関係法令 医学書院			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 法の概念	1. 法の概念 2. 衛生法 3. 個人情報保護と管理 4. 厚生行政のしくみ	講義	D
2	2. 医事法	1. 医療法 2. 医療関係資格法	講義	A
3	3. 医事法	3. 医療を支える法律 ①医療・介護の提供体制 ②移植医療に関する法律 ③人の死に関する法律	講義	A
4	4. 薬務法	1. 薬事一般に関する法律	講義	C
5	5. 労働法と社会基盤整備	1. 労働法 2. 社会基盤整備など	講義	E
6	6. 看護師に関する法律	1. 保健師助産師看護師法 2. 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義	B
7	7. 社会保険法	1. 費用保障 ①健康保険法 ②国民健康保険法 ③高齢者の医療の確保に関する法律 ④介護保険法 ⑤年金 ⑥手当	講義	F
8	単位認定試験			
評価方法	筆記試験 講師毎の配点			
備考	*その他に関する福祉法では、科目：社会福祉の社会福祉行政で習得する内容として、ここでは省略する。			